

緑化だより

No.152 令和元年 8月号



クサギ

- 季節の花(ナデシコ)
- 昆虫の話(夏の茂みにご用心
・コガタスズメバチ)
- 小さな世界こけ(マキノゴケ)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

8月は月曜日休園。月曜日が祝日の場合、翌日休園。
土、日、祝日は17時まで開園



ryokka 緑化センター
広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園
〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811

FAX 082-899-2843

URL <https://ryokka-c.jp>

E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

季節の花

ナデシコ

「なでしこが 花見るとに 娘子(おとめ)らが 笑(ゑ)まひのにほひ

思(おも)ほゆるかも」

大伴家持

万葉集 18:4114

これを訳しますと

(なでしこの花を見るたびに、あの愛おしい笑顔の 匂い立つように美しく照り映えている少女のほほ笑みが思い出されてならないです)

大伴家持は、天平18年(746年)、越中国(えっちゅうこく)現在の富山県～石川県の国司として5年間にわたり赴任していました。奈良の都で育った家持は北国の生活はつらかったのでしょう。ここに詠われている少女は家持の妻「坂上大嬢」(さかのうえのおおいらつめ)です。妻に逢えない寂しさを紛らわすために、なでしこの種を庭に植えていました。なでしこの美しい花が咲くと、いつも愛おしい妻を思い出して自分を慰めていました。この歌は赴任して3年目の35歳の時に詠われた歌です。

平安の昔から「撫でし子」は美しさの中にも、芯のある強さを秘めている日本の女性にたとえられています。愛され可愛がられて、撫でるように大事に育てられました。

山上憶良が詠った秋の七種(ななくさ)にも選ばれています。

ナデシコはナデシコ科ナデシコ属の多年草で、本州から九州に自生しています。淡紅色の花は、先が細かく糸状に切れ込み、7月から10月にかけて、山地の草原や河原に咲いています。

カワラナデシコの母種はエゾカワラナデシコで、北日本から、ヨーロッパまで広く分布しています。高山に分布するタカネナデシコは花卉の切れ込みが深く、美しい紅色の花です。

「なでしこ」は日本原産の植物ですが、中国から来た「石竹」も「なでしこ」と呼ばれていたため、日本の自生のものを「大和撫子」(やまとなでしこ)、「河原撫子」(カワラナデシコ)と呼び、中国から来た「唐撫子」(からなでしこ)と区別しました。(上村)



カワラナデシコ



タカネナデシコ

昆虫の話

夏の茂みに御用心・コガタスズメバチ

夏、日差しが強くなるにつれて山の木々はどんどん葉を茂らせていきます。

そんな中、木陰にぶら下がる丸いスズメバチの巣に遭遇することがあります。これは多くの場合、コガタスズメバチの巣です。この巣はハチが砕いてきた朽木で作られており、丸い外殻の中に六角形の部屋が並んだハチの巣が入っています。

コガタスズメバチは黄色と黒の縞模様をした、典型的なスズメバチです。「コガタ」という名前の通り、他のスズメバチと比較すると小さくおとなしい性格です。普段は花の蜜を吸ったり、幼虫に与える小さな昆虫を捕まえたりして暮らしています。

しかし侮るなかれ、最も人の刺される事故が多いのがこのコガタスズメバチです。その原因の一つに、コガタスズメバチが作る巣の場所が挙げられます。

コガタスズメバチは樹上、それも枝葉の多い茂みの中に巣を作ります。そのため、木陰で休んだり、木々の剪定をしたりする際に遭遇することが多いです。

また、他のスズメバチは巣の周囲に敵が近づくと盛んに威嚇しますが、コガタスズメバチは巣に隠れたまま、ギリギリまでやり過ごそうとします。そのため気付かずに巣へ接触してしまい、事故につながる人が多いのです。

8月から9月にかけて、スズメバチの巣は大きくなり個体数も多くなります。事故が多いのもこの季節です。夏山登山や、お盆前に庭木の剪定をしようという場合には要注意です。(市森林公園こんちゅう館 逸見)



木の枝に作られたコガタスズメバチの巣

小さな世界こけ

マキノゴケ

緑化センター東山作業路、谷からの水がしみ出ているところでマキノゴケを見つけました。

昆布のような葉状体です。はじめ、ケゼニゴケかホソベリミズゼニゴケではないかと思っていましたが、4月中旬、ガラス細工のように透明な柄の先に、黒い楕円形の蒴や、2つに割れ、糸くずのような弾糸が見える蒴がありました。続けて観察していると、葉先に三日月型の雄器をつけている個体もありました。この雄器はミカヅキゼニゴケの無性芽がある三日月型に凹んだところに似ています。

マキノゴケは、全国の山地にやや普通に見られ、湿り気のある土、岩、腐木などに生育します。濃い緑の、幅1cmくらいの葉状体で、葉の縁はすこし波打っています。

雄株の造精器で作られた精子は、長さ0.2mmくらいあり、肉眼でも見ることができる大きさです。

ケゼニゴケやホソベリミズゼニゴケに似ていますが、ケゼニゴケは傘を広げたような雌器托で、傘には毛があります。又、ホソベリミズゼニゴケの孢子体は透明な柄で、黒い球形の蒴は4つに割れます。

和名のマキノゴケは発見者の牧野富太郎博士にちなみ命名されました。(山根)



マキノゴケの孢子体



マキノゴケの雄器



ケゼニゴケの雌器托



ホソベリミズゼニゴケの孢子体

研修会のご案内

- 8月 4日(日)『夏休み自由工作塾』
木の実や木の枝で自由に工作
※ 自由参加、随時受付、材料費 100 円
10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師：緑化センターボランティア
ふれあい湧
- 8月 11日(日・祝)『夏休み親子木工教室』
木工クラフトに挑戦しよう
※ 要予約(先着 20 名)、材料費 2,000 円
10:00～12:00 学習室 集合
講師：ゆうもあファクトリー
木原 博和
- 8月 18日(日)『夏休み自由工作塾』
木の実や木の枝で自由に工作
※ 自由参加、随時受付、材料費 100 円
10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師：緑化センターボランティア
ふれあい湧
- 8月 21日(水)『夏休み自由工作塾』
木の実や木の枝で自由に工作
※ 自由参加、随時受付、材料費 100 円
10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師：緑化センターボランティア
ふれあい湧
- 8月 25日(日)『夏休み自由工作塾』
木の実や木の枝で自由に工作
※ 自由参加、随時受付、材料費 100 円
10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師：緑化センターボランティア
ふれあい湧

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

ネイチャーマスター検定 8月11日(日・祝)山の日

樹木の枝・葉を見て樹種の識別試験をします
自由参加、無料。

場所：学習室

時間：13:00～ 受付, 13:30～14:30 試験

◎ 展示会

場所:学習展示館

・緑化センター 季節の花写真展

場所:レストハウス

(ボード展示)

・愛鳥週間原画コンクール 入賞作品展 ～ 8月 7日(水)

・日本画作品展 8月 11日(日・祝) ～ 9月 16日(月・祝)

(ガラスケース展示)

・折り紙作品展 ～ 9月 1日(日)



昨年の「日本画作品展」より



「折り紙作品展」より